

新たな「職」と「住」の在り方を提案

# New Work × Life Style

和歌山県の強み

## ビジネス環境

- 首都圏からの好アクセス
- オフィス賃料が安価
- 安定で高速の通信環境 等

## 生活環境

- 快適な住環境
- 万全な医療体制
- 充実した教育 等

ターゲット

## 企業誘致に伴う移住

本県に進出した企業の社員の方

## 個人移住

「田舎暮らし」をしたいと考えている方

4つの方面

## 転職なき移住

テレワークの実施により仕事は変わらずに移住を考えている方

## 農林水産業の担い手としての移住

就農などをめざす方

### 地方移住を呼び込む4方面戦略

## 理想の暮らしを叶える

新しいライフスタイルへの関心が高まる中、多くの移住先の中から和歌山県を選んでもらうためには、「自分の理想の暮らしを実現できる場所だ」と移住希望者に魅力を感じてもらえるようPRし、支援策を講じていくことが必要です。

そこで、県では、次の図に示す4つ

の方面をターゲットに据え、移住施策を展開しています。

ビジネス環境の良さや安全で快適な生活環境といった強みを活かした本県ならではの働き方・暮らし方を提案するとともに、移住相談体制や「くらし・しごと・住まい」をサポートする受入体制を充実させています。



### 選手全員が移住者のサッカーチーム



地域で働く川中 涼選手

#### 南紀オレンジサンライズFC

「サッカークラブ×移住×農業」をテーマに、紀南地方を中心に活動するクラブチーム。県外からの移住者である選手やスタッフは、サッカーと仕事をしながら地域貢献活動も行い、地域の活性化に取り組んでいる。

天皇杯(全日本サッカー選手権大会)の本戦出場をめざしてがんばっています!



南紀オレンジサンライズFC 代表 森永 純平さん

勝利を求めるだけでなく、地域との繋がりを大切にしたサッカーチームを作りたいと考えていました。そこで、移住施策に力を入れていて、農業が盛んな一方で人手不足などの課題を抱える和歌山県をチーム作りの場を選びました。

サッカーチームとしてさらなる高みをめざすとともに、ゆくゆくはメンバーたちが地域で自ら農業を営むなど、より一層地域に貢献できるような仕組みを作っていきたいと考えています。



選手・監督23名全員が県外からの移住者

県政最前線  
移住定住特集

# 自分らしく

# 暮らそう

# 和歌山で

和歌山県庁 移住定住推進課  
073-441-2930

本県の美しい里山の風景や特色ある伝統や祭りは、これまで、各地域の住民によって支えられてきました。しかし、近年では、少子高齢化や人口減少により、地域の担い手が不足し、過疎地域では買い物など日常生活の維持が困難になるなどの課題も深刻化しています。

一方で、コロナ禍を契機に、都市部での密集した生活が見直され、自分らしい暮らしを求め、移住をはじめとした新しいライフスタイルへの関心が高まっています。

県では、地域の魅力や活力を高めるため、暮らしやすい地域づくりに取り組む住民主体の活動を応援するとともに、人口減少に対応するため、本県に移り住む人を増やす取組を推進しています。